

## 渡辺一法プロのご紹介 ～心と体を芯からほぐす癒やしの時間を提供～

### 伝統あるマッサージとこだわりの空間演出で極上のリラックスを



あなたの体、ちゃんといたわってあげていますか？ 気付くと首や肩や腰がカチカチに固まっている—なんていう人も少なくないのではないのでしょうか。「ストレスと疲労感から解放されたい！」という人にお薦めなのが、甲府市寿町にある「らく～だポーチャイ」です。ここで堪能できるのは、代表の渡辺一法さんがタイの医学学校で習得した本格タイ古式マッサージ。マッサージオイルをはじめ、インテリアやBGM、ユニホーム、シーツに至ってもすべてタイから取り寄せたものを使用するこだわりようで、まるで現地のリゾートでマッサージを受けているかのような非日常の癒やしを味わえます。

タイ古式マッサージの歴史は、さかのぼること約 2500 年。スコータイ王朝のころ生まれ、インドと中国のマッサージの影響を強く受けたものといわれています。呼吸のタイミングに合わせて、個々の体の硬さや健康状態によって力の入れ方を変えながらツボを刺激していくこのマッサージは、疲労回復や内臓の免疫力向上が期待でき、産前産後のケアなどにもお薦めだそうです。

「人間の体には、7 万 2000 本もの“セン”と呼ばれるエネルギーラインがあります。中でも特に重要とされている 10 本の“セン”の流れをスムーズにすることで、本来持っている自然治癒力を高めて心身を最良の状態に導くという考え方の元に成り立つマッサージです」

### プロスポーツ選手も納得の施術のスペシャリスト

これまで数々のマッサージを受けてきた人なら、最も心配する要素の一つは「もみ返し」ではないでしょうか。「刺激が体に合わず、体調を崩すことはないですか」と尋ねたところ、「タイ古式マッサージなら、もみ返しはありません」と渡辺さんは即答してくれました。「ぐいぐいと力いっぱいマッサージをする手法とは異なります。指を使ってピンポイントでツボに強い圧力をかけて血液やリンパ液の流れを一瞬止め、指を離して再び一気に流す。これを繰り返すことで、終わった後にはスーッと体が軽くなるんです」。体験した人でなければ分からないこの感覚のとりこになるお客さまも急増中とか。プロスポーツ選手も県内外から足を



運んでいるそうです。

渡辺さんは施術の際、体調を伺う以外にほとんどお客さまに話しかけることはありません。とは言っても、決して気難しい人柄だからというわけではないのでご安心を。「施術に集中し、お客さまに“気”を送るためです。お客さまの体のトラブルはどこなのかをとらえるために、集中力を高めるようにしています」と渡辺さん。体調に関する相談には気軽に応じてもらえます。

体が弱かった母親の影響で、幼いころから東洋医学に関する情報が身近にあったという渡辺さん。タイ古式マッサージと出会ったきっかけは、意外なところにありました。

## お客さまの“ポーチャイ”を大切に

役員を務めていた食品会社が廃業し、苦悩の時期を乗り越えて妻とともに保育所を始めたときのこと。迎えにやってくるお母さんたちの疲れ切った表情を見て「疲れをほぐす手助けができないものか」と思い立ったのがマッサージでした。「私自身、会社員時代に営業で取引先を飛び回る多忙な日々を送っていました。忙しい生活が続くと、体は悲鳴を上げているのに自分をいたわる余裕がなくなってしまう。家事と子育てで自分を構う時間の持てないお母さんたちに癒やしの時間を提供したいという思いが心の中に芽生えたんです」。



保育所の空き部屋をマッサージ室にして施術を始めると、あっという間に保護者の間で人気に。さらに高度な施術を求めて情報収集する中で、体の隅々まで指1本分の間隔でツボの一つ一つを丁寧にとらえるタイ古式マッサージを「世界最高のマッサージ」と確信したそうです。

2004年8月、その技術を学ぶべく単身タイに渡り、タイ古式マッサージの総本山である「ワット・ポー タイ伝統医学学校」のスクムビット校で技術を習得。翌年には日本初の同校認定店として「らく〜だ ポーチャイ」をオープンさせました。店名には「楽になって満足(タイ語でポーチャイ)していただきたい」という渡辺さんの思いが込められているそうです。

マッサージの種類は、初心者向けから至福の2時間コースまで5種類用意。レモングラスやジンジャー、コブミカンなどハーブをくるんだ布で体を温めるハーブボールケアも人気です。営業時間は午前10時から午前零時までなので、仕事帰りに立ち寄ることも可能。「お客さまには笑顔で帰っていただきたい。ストレスフルな現代人の体だけではなく心もほぐすマッサージを心掛けています」と渡辺さん。施術後に入れていただくハーブティーが、体と心にじんわり優しくしみわたります。

店先まで丁寧に見送ってくれる渡辺さんの笑顔に「明日からまた頑張ろう」というエネルギーをいただきました。極上の癒やしスポットは、飛行機に乗って遠く海を渡らずとも、意外と身近にありました。

(2010年9月取材)